

◇ 園長室の窓から ◇

渡 辺 茂

(一) プール

園長室のすぐ前がプールになっている。深さ四〇cm、広さ一四㎡、プールサイドも一・五mほどあり、シャワーも洗眼も完備。幼稚園としてはまあまあの方だと思う。三方をブロックで囲んであるのだが、その壁面を先生たちのアイディアと労作で素晴らしい海の生きものたちがえがかれている。鯨の親子が潮をふいて泳いでいる。カニがはさみをふり立てて遊んでいる。いろいろな魚がすいすい。砂地には貝類がそちこちに、本当に素晴らしい。

はじめ、プロに頼もうかという話も出たが、なんとか自分たちの手でやってみようと言うことになり、早速塗料や大小のハケを

用意。全体の構想を全員が理解した上で、それぞれの分担に個性を生かして絵筆ならぬハケを揮いはじめる。ブロックの表面のバタが塗料のノビを邪魔して大変手間どったし、形や線がどうもうまく出せないが、でもさすがに幼児を扱いなれている先生方だ、夢のある楽しい海の生物がたちまちの中に出来る。本当にうれしいことだ。子どもたちが来て、びっくりしたり喜んだりする姿を想像すると自然と顔がほころびてくる。

三年前のことだ。今じっとあの時のことを思い出して協力の素晴らしさをぐっと味わっている。

(二) おてこおてこ

やーい ガキ大将 渡辺 貞 詞曲

は言うを待たない。それぞれの部
位を流れにのって表現するが、指
導の順序としては前半後半と分け
指導する方がよさそう。ブンチャ
カという合の手も楽しい。
ひじ、手の甲の名称を知らない
子が多い。「手首」のあとの二拍
休みに「ジャッジャッ」が自然に
出てくるのも楽しい。

(四) ストレス解消

どんな学級にもガキ大将がいる
し、いじめられた子、めそめそ泣き
っ子がいるものだ。いじめられた
り泣かされたりはしないまでも、
そのガキ大将に対しては何等かの
心理的ウツケツがある子が多い。
そうしたストレスを解消してやる
ための一つの方法として、みんな
に「やーいガキ大将」の歌をうた

わせたことがある。これは可成り効果があったようだ。一対一で
はとても口に出来ないような歌を先生やみんなといっしょになっ
て心ゆくまでうたう。

やーいやーいガキ大将 よわいものいじめは やめろよな
のところは期せずして大声になる。弱者の悲しき叫びでもあろう
か。しかし注意したいことは絶対に「ガキ大将」と目される個人
を指さないことだ。

先生が小さいころの話として、いじめっ子ガキ大将のこわいの
がいて、いつも何等かの抵抗を感じていたことを、例をあげて恐
ろしげにまた楽しげに話をしてやってみたら、この歌がぐーっと
生きてくるだろう。

殆んどのおとな(性別関係なし)が、子どものころに経験して
いるであろうから、子どもたちへの話かけにはあまり難しさはな
かるうと思う。おもしろいことに、ガキ大将いじめっ子と目され
ている子どもでも、結構他のガキ大将いじめっ子にやられている
場合が多いものだ。それだけにみんなでの歌をうたう時、ガキ
大将いじめっ子と目されている子ども自身も結構楽しんでいっし
よになつてうたっているんだからほほえましい。二番の歌詞は
「弱むし、泣きむし、みそっかす」のような子を元にさせるための
もの。みんなで愛情こめて歌ってやりたい。(東京・弥生幼稚園)